



人間の感覚や心地よさが 数値化されており、これは組織の 共通言語になると感じました。

導入背景

この部門には、広報や企画系、管理系業務など様々な機能があり、社員は社内からの公募などで同部門に配属され、職務に配置されます。しかしすべての配置判断が最適であるかは疑問がありました。また、部門の規模が大きくなるに従い個々の結束が薄れがちの中、部門におけるパフォーマンス向上のためには、適正な配置と、上司部下、チーム間での信頼関係構築の重要性が認識されていました。

ソリューション

部門全員にPXTを実施したのち、各職務ごとのモデルをライブラリーや現職者データをベースに構築しました。社員と各モデルのジョブマッチを参考に、実際に配置転換を行いました。また個々のスコアをチームで共有し、チームビルディングセッションを行うことで、相互理解を深めたり、互いの強みを生かしあう仕事の仕方を学んでいます。上司部下の定期面談でもPXTを用いながら仕事の振り返りや行動計画を立てるなど、互いの強みを生かす共通言語として組織活性化に役立っています。



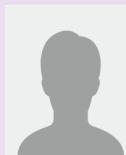
効果

- ◎ 個々の特性に合わせた配置の実現で働き甲斐を高める
- ◎ 上司部下の定期面談におけるコミュニケーションの質的向上
- ◎ 従業員同士で互いの強みを生かした働き方を実現

User's Voice

社員全員がお互いのPXTスコアを共有しあうことで、関係性を深めるだけでなく、強みを生かした職場環境を作っています

社員全員がPXTを深く理解しているため、仕事でうまくいったときや、問題があった時に、PXTを基に振り返り、効果的な打ち手を打つことが出来ています。新しいメンバーとの距離を縮める効果もあり、組織づくりに欠かせないツールとなっています。



CASE 03

「チームビルディング」
「適材配置」

業界

通信事業

規模

30名

モデル

管理系/企画系/広報系職務

人と職務のフィットを測定する 戦略的人材アセスメント ProfileXT®とは

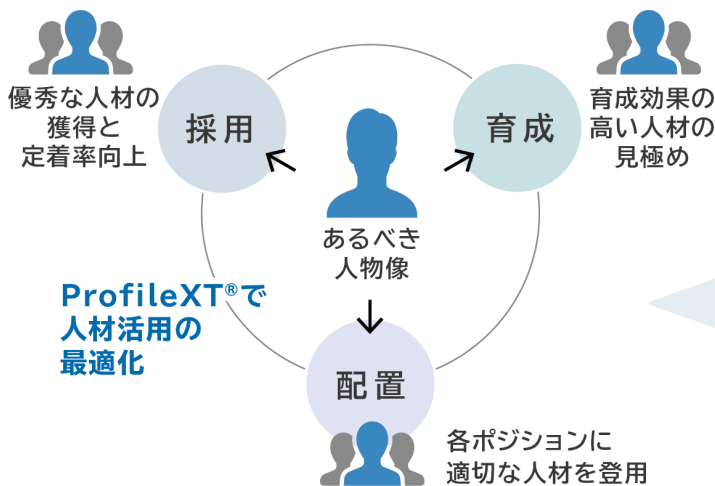
どんな人が優れた成果を上げるのか———？

20年間にわたる36万人へのキャリア追跡調査の結果、職務にフィットしている人材は、そうでない人材と比較して、およそ2.5倍の生産性をもたらすという研究結果が報告されています。優れた成果を達成する人材は、学歴や仕事への経験値等ではなく、「その人材がどれだけその職務にフィットしているか」が最も重要な要素であることが証明されているのです。ProfileXT® (PXT) は人と職務のフィットを測定し、組織の適材適所の実現を強力に支援します。

ProfileXT®導入前 企業に共通する人材活用の課題

<p>採用</p> <ul style="list-style-type: none"> ☑ 採用におけるミスマッチを解消したい ☑ 優秀な人材の離職を減らし定着率を向上したい 		<p>顕在化 している領域</p>
<p>配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ☑ 直感や勘に頼った配置や登用を見直したい ☑ 次世代を担う人材プールが不足している 		<p>潜在化 している領域</p>
<p>育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ☑ 投資効果が上がらない育成施策を立て直したい ☑ 人材の能力を埋もれさせてしまっている 		<p>課題解決の ヒントは 氷山の下に 隠されている</p>

ProfileXT®導入後 人と職務のフィットを測定し人材の生産性を最大化する



ProfileXT®で
人材活用の
最適化

ProfileXT®の動き

[人材データ]

[パフォーマンスモデル]

+

各種ジョブフィットレポートを提供

ProfileXT®3つの特徴

- ▶ 1. 企業独自の成功像「パフォーマンスモデル」の作成
自社向けにカスタマイズした職務モデルを自由に設計
- ▶ 2. 人材マネジメントの全領域に適用可能
1回のアセスメントで採用-配置-育成に対応し人材データを蓄積、評価
- ▶ 3. 多言語対応と世界最高水準のクオリティ
33言語での自由なレポート出力と言語毎に検証された妥当性と信頼性
125ヶ国 世界4万社で展開する世界標準の科学的ソリューション